

今月のトピックス

平成16年度ゴールデンウィークの旅客輸送等の動向について

1. 鉄道

JR (平成16年4月28日～平成16年5月5日)

今年のゴールデンウィークは、曜日配列の関係から長期休暇が取り易い状況で、特急・急行の利用者はグループ全体で対前年同期比24%増となり、前年を大きく上回った。

新幹線は、東海道新幹線が「のぞみ」の増発により27%増となるなど、すべての路線で前年を上回り好調であった。

JRグループ主要区間における特急・急行列車上下計の断面輸送量 (単位:千人)

会社名 (区間数)	期間	H15.4.28	H16.4.28	前年比 (%)
		～H15.5.5	～H16.5.5	
JR北海道 (4)		221	274	124
JR東日本 (18)		2,818	3,368	120
JR東海 (10)		1,883	2,380	126
JR西日本 (12)		1,362	1,761	129
JR四国 (3)		103	119	116
JR九州 (3)		386	474	123
計 (50)		6,774	8,376	124

合計値、前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

新幹線旅客輸送人員前年比 (%)

東海道	山陽	東北	上越
127	131	117	117
長野	山形	秋田	
114	124	110	

2. 国内航空 (平成16年4月28日～平成16年5月9日)

国内航空については、曜日配列の関係から長期休暇が取り易い状況で、全体的に好調であり、対前年同期比16.6%増となった。

方面別では、沖縄方面が特に好調であった。

北海道国際航空、スカイマークエアラインズ、スカイネットアジア航空は増便及び新規路線の開設により高い伸び率となっている。

なお、ピークは下りが5月1日、上りが5月5日であった。

(単位:千人)

会 社	期 間		
	H15.4.28 ~ H15.5.9	H16.4.28 ~ H16.5.9	前年比 (%)
日本航空システム	1,437	1,488	103.6
全日本空輸	1,147	1,484	129.4
スカイマークエアラインズ	53	79	148.4
北海道国際航空	21	37	178.8
スカイネットアジア航空	16	30	185.1
計	2,674	3,119	116.6

合計値、前年比は端数整理、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

日本航空システムは、JAL、JEX、JTA、J-AR、RAC、JAC、HACの合計値

3. 国際航空 (平成16年4月28日～平成16年5月9日)

国際航空については、曜日配列の関係から長期休暇が取り易い状況であること、新型肺炎(SARS)の影響からほぼ脱したことから、全体では対前年同期比94.3%増となった。

方面別では、中国、東南アジア、グアム・サイパン、ホノルル線が好調であった。なお、中国線については新型肺炎(SARS)の影響の反動により大幅増となっている。

出国のピークは4月30日、5月1日、帰国のピークは5月4、5日であった。

(単位:千人)

会 社	期 間		
	H15.4.28 ~ H15.5.9	H16.4.28 ~ H16.5.9	前年比 (%)
日本航空システム	216	413	191.0
日本アジア航空	13	33	248.6
全日本空輸	66	126	190.3
エアーニッポン	1.7	5	302.7
計	297	577	194.3

日本発着ベース

合計値、前年比は端数整理、四捨五入の関係で合致しない場合がある。

日本航空システムは、JAL、JAZの合計値。

(参考) 日本航空システム (JAL、JAZ) の日本発方面別輸送実績 (単位:人、%)

路 線	ホノルル	米大陸	欧州	韓アジア	オセアニア	グアム・サイパン	韓国	中国
旅客数	32,018	23,458	23,383	46,564	11,885	17,307	21,495	24,425
前年比	217.3	138.7	174.0	249.0	150.8	247.3	153.5	551.0

4. 高速道路 (平成16年4月28日～平成16年5月5日)

全国の日本道路公団所管の高速道路の出入交通量は、連休前半は天候に恵まれたものの、後半は寒冷前線を伴った低気圧の影響により全国的に大荒れの天候となったことから、対前年同期比3.3%増にとどまった。

主な道路の出入交通量をみると、東名高速道路を除き前年を上回っている。

なお、下り線では5月2日に、また上り線では5月3日に混雑のピークが見られた。

高速道路出入交通量 (日平均)		(単位:千台)	
区 分 \ 期 間	H15.4.28 ～H15.5.5	H16.4.28 ～H16.5.5	前年比 (%)
全国高速道路	4,188	4,328	103.3
道央自動車道	90	101	111.4
東北自動車道	303	308	101.4
東名高速道路	421	419	99.5
関越自動車道	178	179	100.8
山陽自動車道	173	181	104.5
九州自動車道	218	227	104.1

5. 主要旅行業者の主催旅行 (ブランド) の出発旅行客数 (平成16年4月28日～平成16年5月5日)

旅行業者主要5社が取り扱った出発旅行客数をみると、国内旅行については対前年同期比10%増、海外旅行については179%増となった。

海外旅行については、曜日配列の関係から長期休暇が取り易い状況であること、SARSの影響からほぼ脱したこと等から、前年を大幅に上回っている。

	前年比 (%)
国内旅行	110
海外旅行	279

上記前年比は、ジェイティービー、近畿日本ツーリスト、日本旅行、阪急交通社及び東急観光 (国内旅行のみ)

ジャルパック (海外旅行のみ) の国内及び海外の主催旅行の出発旅行客数の速報値について前年と比較したもの。

